

風水害の実態、復旧・復興を克明に記録した価値の高い資料集。

# 日本風水害誌集

全四卷

吉越 昭久 編・解説

クレス出版



## 「日本風水害誌集」刊行によせて

立命館大学文学部特別任用教授・名誉教授

### 吉越昭久

日本では明治時代以降、それぞれの災害や被災した地域ごとに災害の記録（災害誌）が刊行されてきたが、昭和時代に入るとその内容は膨大なものになり、正確なものになっていった。災害誌は自治体によって刊行されることが多く、それは地域の貴重な災害の記録となる。地図や写真などを用いて被害の原因を考察したり、有効な対策にまで言及したものが刊行されるようになるのは第二次世界大戦後もかなり時間がたってからのことである。このように、災害誌は時代とともに変化し、進化してきたといえる。

災害誌を刊行する意義は、被害の実態や復旧・復興過程を克明に記録することと、それをもとに今後の防災対策に役立てることにあった。しかし、古い災害誌はあまり残されておらず、利用する上でも多くの困難があった。このような視点から、それらの資料を提供する目的をもって、平成24年から25年にかけて「日本災害資料集」として地震編全6巻（伊津野和行編・解説）、同第二回全6巻（伊津野和行編・解説）、水害編全7巻（吉越昭久編・解説）、気象災害編全5巻（吉越昭久編・解説）、火災編全7巻（田中睦義編・解説）を刊行してきた。その内容は、災害誌だけではなく、災害の概論や災害史などをも含む幅の広いものであった。

以上のような経緯を踏まえ、本シリーズでは災害の中でも風水害に焦点を絞り、自治体が編纂し刊行した風水害誌を全四巻に収録した。風水害の発生には一定の周期性があり、規模の大きなものは昭和初期から第二次世界大戦直後までの時期に多くみられた。この時期は戦前戦後の混乱期であったため治山・治水などへの対策が遅れ、結果として多くの風水害を引き起こしたものと考えられている。また、この時期に風水害誌が大きく進化することになるなど、取り上げる意義は大きいと考えられる。

本シリーズに収録した風水害誌は、「昭和二十二年九月埼玉県水害誌」昭和25年、および「昭和22年9月埼玉県水害誌付録写真帳」昭和25年、埼玉県（第一巻）、「大阪市風水害誌」昭和10年、大阪市（第二巻）、「昭和九年岡山県風水害誌」昭和10年、岡山県、（第三巻）、「昭和二十八年六月福岡県水害誌」昭和29年、福岡県（第四巻）で、いずれもその地域の災害の実態、復旧・復興を克明に記録したもので、資料的にも高い価値をもつものである。

是非、この時期における風水害の特徴を把握し、防災対策を考える基本的資料として、この「日本風水害誌集」を存分に活用していただければ幸いである。

## ●日本風水害誌集 全四巻構成

### 第一巻 昭和二十二年九月 埼玉県水害誌

●埼玉県編・発行 昭和二十五年五月

【内容】総説、出水の状況、被害の状況、救済救護の状況、復旧とその対策、協力と慰問、功績と表彰、結語、附写真帳

### 第二巻 大阪風水害誌

●大阪市編・発行 昭和十年五月

【内容】序説、台風及高潮、災害、救護施設、本市の復旧施設、大阪府の救護及応急施設、陸海軍の活動、新聞社の活動、其他各種団体の活動、政府及各地の救援、復興計画

### 第三巻 昭和九年 岡山県風水害誌

●岡山県編・発行 昭和十年十月

【内容】空前の大惨害（暴風雨、風水害、被害一斑、聖恩無辺）、応急措置（罹災救助、救護物資、罹災救助基金、医療及防疫、警備及治安、義捐金品、労務の需給、徴収延期及減免、土木事業、応急施設費、其他の措置、視察及慰問）、復旧計画（復旧費、復旧費予算、陳情及意見書、復旧対策、自力更生）、災禍余録（善行美蹟、風水害関係達示）

### 第四巻 昭和二十八年六月 福岡県水害誌

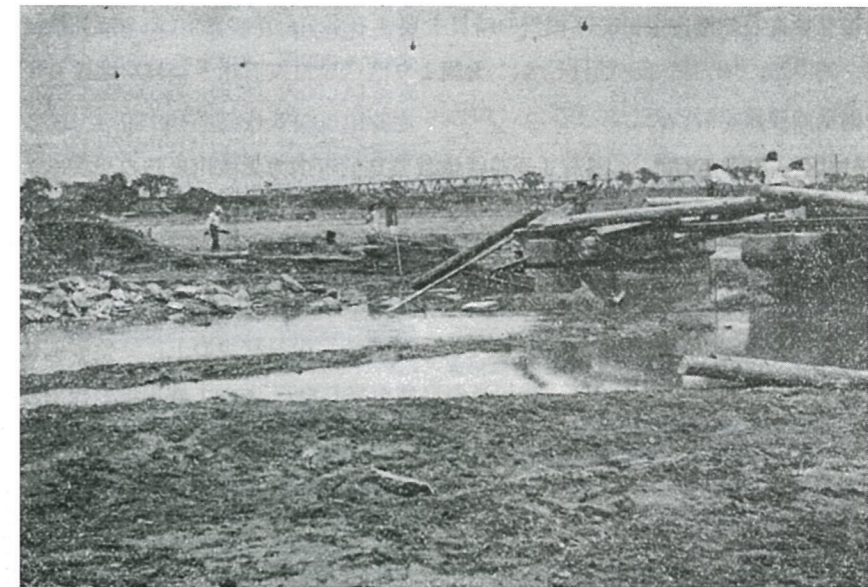
●福岡県編・発行 昭和二十九年十二月

【内容】総説（昭和28年の全国災害概況、西日本各県の被害概要、過去における福岡県の主要なる災害）、6月上旬における豪雨災害（気象状況、河川の出水状況、被害救助法の発動、被害状況、県において処置した事項、中央に対する要望、国の予算処置、6月下旬災害に及ぼした影響）、6月下旬における豪雨災害（気象状況、河川の水位及び堤防の決壊状況、災害発生の概況、被害の概要、政府における西日本災害対策、救助対策、郡市における救助対策、応急対策並に応急復旧、財政金融対策、義捐金及び救恤品）

### 第2項 道路、橋梁関係

今次災害は県下全域に甚大なる被害をもたらし、1級国道を初め県内幹線道路は殆んど交通が杜絶した。鉄道も各地で不通となつて、県内を寸断し、陸の孤島化する地域さえ生じた。このため食糧衣療品等の救援物資並に復旧資材の運搬にも支障を来し社会安寧上黙視しえない情勢となつたので、幹線道路の交通確保に全力を傾注した。之に対しては機械力をも動員し其の他米軍からも器材の貸与をうけ、国警の協力により道路の交通統制を行つた。又保安隊による応急工事の応援も特記すべきものである。

即ち北九州、筑豊、福岡及び筑後の各地区相互の連絡復旧のため次の措置を講じ交通杜絶状態を最小限に喰い止めた。



決壊した国道2号線（久留米市東櫛原町）

1 北九州地区—福岡地区間 先づ宗像郡福岡町地内国道3号線に架つている旭橋は6月25日橋脚沈下により交通不能となり、早急に手持材を搬入して仮橋を架設応急措置をとつた。28日再度沈下したので更に処置の上7月2日早朝一部重量制限しつつ交通を再開する一方別途下流町道を利用して木橋を架設し、本格的の復旧を完成した。

更に26日遠賀川筋の堤防決壊により国道3号線遠賀郡遠賀村地内が汎濫したため交通杜絶し、加えて相当期間減水の予想がつかないので本ヶ所は渡船をもつて連絡を取る一方海岸廻りの迂廻線として赤間一芦屋線、直方一芦屋線を緊急補修整備して交通に供したのであるが、巾員狭少と路面軟弱のため通行確保に困難を極めた。7月2日減水を待つて始めてこの附近の交通も平常の状態となり3号国道の交通は完全に恢復した。

2 筑豊地区—福岡地区 両地区を結ぶ最重要幹線である二級国道福岡行橋線は粕屋郡嘉穂郡界八木山峠に数ヶ所の立木崩土があり、この取除きには県機械事務所のブルドーザー、トラクを

# 日本風水害誌集 全四巻

吉越 昭久 編・解説

第一巻	昭和二十二年九月 埼玉県水害誌	定価26,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-857-2
第二巻	大阪風水害誌	定価30,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-858-9
第三巻	昭和九年 岡山県風水害誌	定価14,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-859-6
第四巻	昭和二十八年六月 福岡県水害誌	定価22,000円 (税別)	ISBN978-4-87733-860-2

A5判、B5判 (第三巻、第四巻) / 上製クロス装 揃定価92,000円 (税別)

平成27年3月末日刊行 ISBN978-4-87733-861-9 (セット) C3344

## クレス出版好評既刊書

### 日本災害資料集 全31巻

- 水害編 全7巻 吉越昭久 編・解説
  - 第1巻 水災と雪災、水害の日本 定価 14,000円 (税別) ISBN978-4-87733-683-7
  - 第2巻 大正八年 福山水害誌 定価 8,000円 (税別) ISBN978-4-87733-684-4
  - 第3巻 昭和十年 群馬県風水害誌 定価 15,000円 (税別) ISBN978-4-87733-685-1
  - 第4巻 水害の総合的研究 定価 11,000円 (税別) ISBN978-4-87733-686-8
  - 第5巻 北上川流域水害実態調査 定価 14,000円 (税別) ISBN978-4-87733-687-5
  - 第6巻 カスリン台風の研究 定価 19,000円 (税別) ISBN978-4-87733-688-2
  - 第7巻 昭和二十二年 東京都水災誌 定価 14,000円 (税別) ISBN978-4-87733-689-9
- 揃定価95,000円 (税別) ISBN978-4-87733-690-5 (セット)
- 地震編 全12巻 伊津野和行 編・解説
  - 第1巻 昭和五年十一月二十六日 北伊豆地震報告 定価 14,000円 (税別) ISBN978-4-87733-691-2
  - 第2巻 三陸大震災史 定価 6,000円 (税別) ISBN978-4-87733-692-9
  - 第3巻 南海大震災誌 定価 25,000円 (税別) ISBN978-4-87733-693-6
  - 第4巻 福井震災誌 定価 21,000円 (税別) ISBN978-4-87733-694-3
  - 第5巻 北但震災誌、昭和十九年二月七日 東南海大地震調査概報 定価 16,000円 (税別) ISBN978-4-87733-695-0
  - 第6巻 十勝沖地震調査報告 地震篇 定価 13,000円 (税別) ISBN978-4-87733-696-7
  - 第一回全6巻 揃定価95,000円 (税別) ISBN978-4-87733-697-4 (セット)
  - 第7巻 震災 防災科学 (2) 定価 10,000円 (税別) ISBN978-4-87733-724-7
  - 第8巻 東京大正震災誌 定価 8,000円 (税別) ISBN978-4-87733-725-4
  - 第9巻 丹後地震誌 定価 14,000円 (税別) ISBN978-4-87733-726-1
  - 第10巻 昭和八年三月三日 三陸沖強度及津浪報告 定価 10,000円 (税別) ISBN978-4-87733-727-8
  - 第11巻 福井地震誌 定価 14,000円 (税別) ISBN978-4-87733-728-5
  - 第12巻 十勝沖地震調査報告 その二 定価 30,000円 (税別) ISBN978-4-87733-729-2
- 第二回全6巻 揃定価86,000円 (税別) ISBN978-4-87733-730-8 (セット)
- 火災編 全7巻 田中喙義 編・解説
  - 第1巻 火災、白木屋の大火、明日の都市 定価 14,000円 (税別) ISBN978-4-87733-758-2
  - 第2巻 大正 大震災大火災、大地震による大火災、関東大震災と帝都復興事業 定価 15,000円 (税別) ISBN978-4-87733-759-9
  - 第3巻 函館大火史 附消防沿革史 定価 10,000円 (税別) ISBN978-4-87733-760-5
  - 第4巻 鳥取市大火災誌 (復興篇) 定価 14,000円 (税別) ISBN978-4-87733-761-2
  - 第5巻 震災予防調査会報告 第百号 (戊) 定価 13,000円 (税別) ISBN978-4-87733-762-9
  - 第6巻 都市不燃化運動史 定価 16,000円 (税別) ISBN978-4-87733-763-6
  - 第7巻 戦災復興と全国戦災都市連盟の歩み 定価 13,000円 (税別) ISBN978-4-87733-764-3
- 揃定価95,000円 (税別) ISBN978-4-87733-765-0 (セット)
- 気象災害編 全5巻 吉越昭久 編・解説
  - 第1巻 風災、凶作 定価 15,000円 (税別) ISBN978-4-87733-780-3
  - 第2巻 秘密気象報告 第1巻 定価 16,000円 (税別) ISBN978-4-87733-781-0
  - 第3巻 秘密気象報告 第2巻 定価 21,000円 (税別) ISBN978-4-87733-782-7
  - 第4巻 秘密気象報告 第3巻、第4巻 定価 22,000円 (税別) ISBN978-4-87733-783-4
  - 第5巻 秘密気象報告 第6巻 定価 15,000円 (税別) ISBN978-4-87733-784-1
- 揃定価89,000円 (税別) ISBN978-4-87733-785-8 (セット)